30.3 GP で外部 I/O を制御したい

30.3.1 詳細

GP で外部 IO を制御するには、GP 内蔵の DIO ドライバを使用します。

入力6点、出力2点で構成されています。



30.3.2 設定手順

• 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。 MEMO ^{(②}「30.3.3 [I/O ドライバ設定] の設定ガイド」(30-12 ページ)

1 機種設定で AGP-XXXXX-D81 を選択します。自動的に DIO ドライバが設定されます。

2 [システム設定ウィンドウ]から [I/O ドライバ設定]を選択すると、次の画面が表示されます。

<u>システム設定ウインドウ 表示器設定 腰種設定</u>	表示器タイプ シリーズ 機種 設置方法	GP3000 Series AGP-3500T-D81 横型			
<u>本体設定 ロジックプログラム設定</u> ビデオ/動画設定 フォント設定	レクドライバ設定 内部ドライバ 1	E 		1/0 ドライバの追加	レッドライバの削除 レ ンの両面へ
周辺機器一覧 周辺機器一覧 接続機器設定 フリン身設定 入力機器設定 スワリフト設定 ノリン方設定 レクドライバ設定 ビアサーバ設定 モデム設定 VMユニット設定 マンステ 課課 アドレ (の) 共通 (日) 画面	DID ドライ 入力 点数:6点 タイプ:ど: 出力 点数:2点 タイプ:ど:	/Y(ID:#1) ; >F ; >F	小のドライバ設定		

MEMO
ワークスペースに[システム設定ウィンドウ]タブが表示されていない場合は、[表示(V)]メニューから[ワークスペース(W)]を選択し、[システム設定ウィンドウ(S)]を選択します。

3 [I/O ドライバ設定]をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。入力、出力のアドレスタイプを設定し、[OK]をクリックします。

	×
入力	
点数 タイプ(<u>T)</u> 6点 ビット マ	
出力]
点数 タイプ(ソ)	
2点 ビット 💌	
□ 出力保持(1)	
<u>OK</u> キャンセル(<u>O</u>)]

4 [I/O 画面へ] をクリックして I/O 画面に移行します。

📕 MAI	N(無題) 💌	题 Dio()		
4 X 1	BL → X	💠 🗉		
<u>DIO 145</u>	<u>۱٬٬۵۵:#۱)</u>			
名前	変数		IECアド	シス
00				
🖉 II				
🖉 🛛				
🖉 I3				
💋 I4				
Ø 15				
🖉 🖉 🖉				
🖉 🖉 Q1				

• ワークスペースの [画面一覧] ウィンドウから I/O 画面を表示することもできます。 MEMO

5 各端子にアドレス(変数)を割り付けます。割り付け方法については以下を参照してください。 [☞]「30.1.2 設定した各 I/O 端子にアドレス(変数)を割り付ける方法」(30-3 ページ)

30.3.3 [I/O ドライバ設定]の設定ガイド

DIO ドライバ

表示器の機種が「AGP-XXXXX-D81」の場合に、システム設定ウィンドウの [I/O ドライバ設定]を選択すると表示される画面です。

1/0ドライバ設定 内部ドライバ1	
	1/0画面へ
DIO ドライパロ0#1) 入力 点数6点 タイプビット 出力 点数2点 タイプビット	1/0ドライバ設定

設定項目	設定内容
I/O ドライバ設定	クリックすると、[I/O ドライバ設定] ダイアログボックスが表示されま す。
I/O 画面へ	クリックすると、I/O 画面に切り替わります。

I/O ドライバ設定

※ I/0ドライバ設定	×
_入力	
点数 タイプ(<u>T)</u> 6点 ビット ▼	
点数 タイプ(Y) 2点 Pink マ	
<u>QK</u> キャンセル(<u>C</u>)	

	設定項目	設定内容
入力	ס	入力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。 点数は 6 点(固定)です。
出ナ	כ	出力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。 点数は 2 点(固定)です。
	出力保持	ロジック停止時に出力を保持するかどうかを設定します。チェックを入れ ると、GP が停止状態になっても I/O のデータ値を保持したままにするこ とができます。